

稲門フィラテリー 第86号

2022年12月1日発

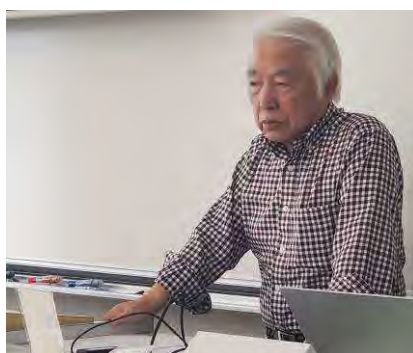
<http://post-stamp.org/wasephila.html>

3年ぶりの総会開催

青柳次男

色づき始めた銀杏を眺め、昔、友人のラブレターを代筆したことを思い出した。早稲田祭に彼女を誘う手紙だった。かつては、早稲田祭で切手研究会の展覧会が行われていた。しかし現在、稲門フィラテリーの総会は、切手展無しで稲門祭に行われている。聊か寂しい気がする。その稲門際の雑踏の中を、11号館に向かう。ここもかつては5号館だった。今は、1階にコンビニエンスストアを構える大きな建物になり、エスカレーターとエレベーターを備えている。目的の503号教室のドアには、「稲門フィラテリー」の貼り紙。コロナのお陰で3年振りの集まり。何か、懐かしさを覚えた。

10月23日正午12時に総会が始まった。出席者18名。議事は、①2022年度活動報告および2023年度活動計画 ②2022年度会計報告および2023年度予算 ③2022年



度会計監査報告と順調に進み、④役員改選で、次の新しい幹事が承認された。

【会長】池澤克就

【顧問】花本金吾

【アドバイザー】小西邦彦、磯野明彦

【会長補佐】青柳次男

【総務】早川弘司

【会計】木元淳一郎

【編集】池澤克就、青柳次男

【会計監査】石井克忠

また、報告事項として次の2点が紹介された。

- ①ホームページの移設(後刻アドレスを決定)
- ②切手教室、常設展、会員作品のホームページ上での紹介

総会は、従来より30歳若返った池澤新会



長の所信表明で終了し、暫時休憩の後、講演会に移った。

「日本郵便制度黎明期ヒストリー—郵便制度創設と手彫り切手」と題した講演会は、小原会員によって行われ、そこには、小原会員の所属する板橋稲門会から10名弱の聴講者も参加された。小原会員は、この10月に一般財団法人日本切手デジタル博物館を開館されましたが、その経緯についても講演の中で話していただいた。



小原会員



小原会員の講演

講演会の後、暫く時間をおいて高田牧舎で懇親会。ビルに建て替えられた会場で、高田牧舎が、「タカタボクシャ」であることに初めて気が付いた。卒業以来約60年。あまりに気が付くのが遅すぎるかもしれない。懇親会には、88歳から48歳までの会員18名が集い、和やかに、賑やかに時が過ぎていった。

私が早稲田に通っていたころ、教室でもキャンパスでも、文学部を除いて女性の姿は稀だったと記憶している。しかし、今回、あまりの女性の多さにビックリ。それも、若いお母さんとおおぜい。そのお母さんたちのベビーカーに乗ったお子さんたちが、次の早稲田を担ってくれるものと期待しながら早稲田の杜を後にした。



稲門祭当日のキャンパス




JsDM

日本郵便切手デジタル博物館 設立メッセージ

Message from Japan Stamps Digital Museum Foundation




一般財団法人日本郵便切手デジタル博物館

代表理事 小原 英樹

Hideki O'Hara

JsDM

日本郵便切手デジタル博物館 設立 ホームページ配信開始 メッセージ

名 称	JsDM 一般財団法人日本郵便切手デジタル博物館 Japan stamps Digital Museum Foundation
設 立	2022年(令和4) 10月1日 Established on 1 st October 2022
所 在	174-0065 東京都板橋区若木1-10-8-101 101-1-10-8 Wakagi Itabashi Tokyo 174-0065 Japan
代 表	小原 英樹(代表理事・館長)
役員等	理事 庭本久美子 永井昌 監事 川口達夫 評議員 吉富英代 椎名ひろみ 加東龍三
公 開	1871年日本郵便創始から2003年郵政民営化迄の日本切手 1871の解説リーフ(約4000種)ホームページを2023~公開。
URL	http://nihonkitts.com Started from 2023

手彫切手 1 (電文) 1871 (明治4) 4月20日発行

Hand carved (Etched) stamps 1 (Dragon Stamps Mon Unit)
Issued on April 20, 1871 (Meiji 4)











日本最初の郵便切手 電文4種 1871年(明治4)4月20日発行

日本の郵便制度は、郵便制度を初めて創設したイギリス(1840年)から30年遅れて、1871年にアジアで初めて創設された。その時点で日本初の郵便切手が発行された。この切手は、政府が京都の仙田支 支の仙田支の工部局に委託して制作された。価値を印するため、銅版コンダクション技法により極めて精密なハンドクラフトで一枚ずつ作られている。デザインは、雷紋(雷模様)と七宝の周囲と左右に龍を配し、真中に龍面(四十八文、百文、二百文、五百文)を印字した。この切手は、通貨単位が江戸時代から変更されているにもかかわらず、文がかわった。このうち、48文切手は、当時50文を48文として評価・再評価していたため、この期間で発行された。

Japanese first Stamps Dragon Mon Unit 4 types Issued on April 20, 1871 (Meiji 4)

Japanese postal system was first established at Asia in 1871, thirty years behind the United Kingdom (1840), when the postal system was first created. At that time, Japan's first postage stamp was issued. This stamp was made by the government entrusted to the Atsuta Matsuda's workshop at Matsuda Gensendo in Kyoto. In order to prevent counterfeiting, the copper plate etching technique is used to make each piece by extremely precise handcrafting. The design is around the lightning crest (vortex pattern) and cloisonne, ascending dragons on the left and right, and the face value (48 mon, 100 mon, 200 mon, 500 mon) is printed in the center. At this time, the sentence was used because the currency unit had not changed since the Edo period. At this time, the sentence was used because the currency unit had not changed since the Edo period. At this time, Mon was used because the currency unit had not changed since the Edo period. 48 mon stamps were issued at this face value because at that time 50 mon were evaluated and exchanged as 48 mon in the quaternary system.

戦後復興期の記念切手 概説 (1945~1951)

Postwar reconstruction era commemorative stamps Outline 1945-1951

太平洋戦争終戦復興期時代の記念切手 概説

1945年(昭和20)8月、日本は連合国にポツダム宣言の受諾を通告し、太平洋戦争は終結した。

日本はアメリカ軍中心のGHQに占領され、1951年9月のサンフランシスコ講和条約締結(1952年発効)まで、独立国としての主権を失った。この間、日本はGHQによる新憲法制定、財閥解体、労働改革および農地解放と預金封鎖・新円切り替え・財産税課税など、多くの占領政策の下、民主国家として経済復興を遂げた。但し、戦後の日本のインフレーションは他の国と同じように強烈で、日銀の即売物価指数によると、1945年から1948年までの3年間で約60倍となった。

切手の額面もそれに比例して急激に値上がりした。1950年に朝鮮戦争がはじまると日本は後方支援の役割を演じ、軍需物資供給などにより戦後復興は大きく前進した。また、戦後制限されていた重工業や輸送機器などの生産が緩和されたことも、戦後の経済復興に大きな効果をもたらしたことも事実である。

この時期に発行された日本切手は、戦前の天皇と軍事中心から大きく変化し、平和や産業復興をテーマにしたものが多く発行された。しかし、1947年から1949年迄は、小さな地方切手展覧会を記念する切手等の乱発現象が続いた時期もあった。しかし、通信省(郵政省)は、日本の戦後通信復興にいち早く着手し、国民の安全確認や食糧確保及び産業復興に多大な貢献をしたことは、後世に語り継がれる大きな功績である。

Outline of commemorative stamps during the reconstruction period after the end of the Pacific War

In August 1945 (Showa 20), Japan notified the Allies of the acceptance of the Potsdam Declaration, ending the Pacific War. Japan was occupied by the US military-centered GHQ and signed the San Francisco Peace Treaty in September 1951 (1952). It lost its sovereignty as an independent country until it came into effect. During this period, Japan carried out economic recovery as a democratic nation under many occupation policies such as the establishment of a new constitution by GHQ, the reform of labor for dismantling conglomerates, the liberation of farmland, the blockade of deposits, the switching of new yen, and the taxation of property taxes. However, postwar inflation in Japan was as intense as in other countries, and according to the Bank of Japan's Wholesale Price Index, it increased about 60 times in the three years from 1945 to 1948. The face value of stamps also rose sharply in proportion to it. When the Korean War began in 1950, Japan played a role of logistical support, and postwar reconstruction made great strides due to the supply of military supplies. In addition, the relaxation of the liquidation of heavy industry and transportation equipment, which had been restricted after the war, had a great effect on the postwar economic recovery.

The Japanese stamps issued during this period changed significantly from the prewar emperor and military ethos, and many were issued with the theme of peace and industrial reconstruction. However, from 1947 to 1949, there was a time when stamps and other stamps commemorating the small local stamp exhibition continued to be overrun.

However, the Ministry of Communications (Ministry of Post and Telecommunications) was one of the first to embark on the reconstruction of Japan's postwar communications, and made a great contribution to the confirmation of the safety of the people, food security, and industrial reconstruction, which is a great achievement handed down to posterity.




小原会員の講演資料より

今日もどこかで 神楽・まつり・そして神楽

池山 眞彦

長引くコロナ禍、全国津々浦々神楽囃子の響きも徐々に復活の兆しが見え大変喜ばしく感じている日々ですが、体力、知力、記憶力、想像力・・・力の低下は単なる好奇心だけでは太刀打ちできないレベルであることを痛切に認識し始めました。全国各地の神楽や伝統芸能の素晴らしさや支える人々の情熱を忘れぬよう書きとめてきましたが、今回をもって一応の区切りをすることとしましたのでよろしくお願い申し上げます。

出雲大社のお膝元 神迎えの道

大土地神楽

旧暦10月10日、全国津々浦々より八百万の神々が出雲大社の西方1キロにある稲佐の浜より上陸し、縁結びの「神議り」を行う神在祭が執り行われる。龍神を先頭に神々をお迎えする「神迎えの道」の中ほど、杵築の地に鎮す（祭神は須佐之男命）の氏子により江戸時代中頃より旧大土地村と旧中村の人々により伝承されてきた出雲神楽がある。

出雲神楽は出雲を中心とした一帯及び周辺に共通の特色を持つ神楽の総称であるがその成り立ちを思うとき、歌舞伎の祖出雲阿国に



まつわる話がどうしても脳裏から離れないのである。事実この杵築の地には出雲阿国の墓所や阿国神社など阿国にまつわる跡が随所に存在しており、出雲大社の巫女となった後に、出雲大社勧進のため諸国を巡回したと伝わる話と交錯する。神楽は元来神に対する畏敬や感謝の意味を込めた神道色濃い神事であるが、それに能・狂言の芸能的要素が取り入れられたのは、門前町として盛んだった芝居興業の影響を受け、観衆を意識し楽しませる所作演出が多く取り入れられるようになったからに違いない。先年、初期歌舞伎踊りの面影を残す新潟柏崎の「綾子舞」の演ずる優雅な扇の手ぶりが思い出される。多くの神楽が神職の手により継承されている中で広く一般に

開放されたのは明治時代になってからといわれている。しかしここ杵築ではより以前から氏子たちによる「素人神楽」が存在し、小児に舞わせたり豪商たちが面や衣装を寄進するなど独自の展開を見せ300年の時を経て現在に至っているそうである。

夕食後、出雲大社参道添いにある国登





るさと心の風景切手
出雲市 一畑鉄道

録有形文化財の宿「日の出館」の主人に車で案内され荒神社へ。

明るく照らされた白木の舞台では子供たちによる七座と呼ばれる序盤の神事的な舞が後半を迎えていた。榊に飾られた4本柱には青龍 白虎など東西南北を示す紙が巻かれ、天井からは飾りのついた小さな天蓋が2枚垂れ下がっただけの極めて質素な舞台ではある。「大土地神楽」と染め抜かれた濃紺の幕前に2列になった奏者が大太鼓や鉦、笛を手に囃しを奏しており、又舞人の出入りのために奏者の横に設けられた階段からそのまま橋掛りが伸び道路を挟んだ二階家へつながる。まさしく能舞台そのものの設営だっ



た。しかも毎年新しく仮設するとのことで再度びっくり。

連日の猛練習を経た本番の舞台は、頭屋と呼ばれる六つの町内で受け継がれる子供たちにとっては六年に一度のハレ舞台でその愛らしい舞ぶりは夜神楽に一層の華を添えている。

八千矛神と言われた若き大国主大神が出雲の国を平和な国とすべく、悪事を働いていた兄神とその子分達と弓矢や刀を持って激しく戦い、人々が安心して暮らせるまでを描いた勇壮な舞が続いた。地元の人々がしっかりと荘厳優雅な舞を見守る中、舞台の周りでは大勢の子供たちが夜更けの時間制限無しをはしゃぎ回って遊んでいたのが印象的だった。続いて4人の乙女が鈴を手にもって優雅に

舞を神様に奉納する。

御幣と扇を手にした小学生が願う弊の舞、手草を手にした手草の真は共に神様に豊作を願う舞であり、伝統の重圧を背負いながらの熱演、舞の合間に見られる所作や顔には喜びと誇らしさを醸し出す迫真の一人舞台であった。

時間はすでに午後10時を過ぎ



ふるさと切手
出雲阿国

ている。宿へ戻る時間が迫っている……。本格的な神話の舞台を前にして残念ではあるが、300年の伝統と神楽にかける熱意に浸れた喜びはしっかりと受け止めよう。

神々を演ずる山の神、三韓、大恵比寿、切目、荒神等の主演目はあきらめることとした。納めは1時間に亘って八岐大蛇退治、素戔鳴尊と稲田姫、八重垣神社の物語で締めくくられるそうである。舞台の終了は午前2時、延々8時間に及ぶ奉納神楽なのである。

青白く霞む街灯の続く神迎いの緩い坂道を若い親子連れが歩いている。母親の先をみぎひだりにぴょんぴょんと跳ねながら幼女が行く。神楽の余韻と後ろ髪を引かれる思いを感じながら帰路に就く身には何とも言えぬ不思議の世界に浸るような思いがして、何度もその光景が脳裏に呼び戻されるのである。

後日京都旅行の折、四条河原にかかる橋のたもとで歌舞伎踊りの出雲阿国像と突然出会い、びっくりと同時に俄かに出雲での光景が懐かしく思い出されたのです。

南信州の秘境遠山郷

一陽来復を願う霜月祭

数年前、折からの暴風雪に急遽に中止を決めた遠山郷。地図上に定規を当てれば直線距離160キロ強も新宿から高速バス、地元バスに乗り換えて延々7時間。

往時は賑わう秋葉街道筋の南信州和田宿は今や「神々の棲む里」秘境中の秘境なのだ。遠山郷の霜月祭りは年も押し迫った12月、飯田市上村、南信濃の各神社で奉納される湯立神楽で、社殿の中央に設えた釜の上に神座が飾られ湯を煮えたぎらせて神々に捧げます。万物の生命の源である太陽が最も衰弱する冬至を境に日増しに長くなる日照時間、それを一陽来復、太陽の復活再生と考え、神も人も自然界の全てが生まれ清まることを祈る旧暦霜月（11月）の祭りである。

12月13日、バスを降り立った冷え冷えする街道筋、木々はすっかり葉を散らし、行きかう人影は全く見当たらない。馬が街道を闊歩していた時代から続く老舗旅館に荷を解き、先ずはお目当ての和田・諏訪神社に向く。

掃き清められた境内には日章旗や神社の幟が神々を迎えるに相応しい深遠な雰囲気醸し出していた。深夜に及ぶ本祭りの序盤は既





に始まっており、30 畳ほどの舞殿中央には湯開き、湯立てを終えた湯釜、天井には神々の通り道である注連縄、切り紙を飾り付けた天蓋が飾られていた。湯釜の周りを白衣に烏帽子、手に扇と剣を携えた素面の舞人4人が厳かに「下道祓い」と称する舞台を舞っていた。一見単調に見える所作、足運び、回数等々ではあるがそれぞれ神々に捧げる深い意味を持っていることがうかがえる。

時間的に見物人もわずかであったが大体の様子を確認、社務所でまつりの説明書を購入し、一旦宿に戻り出直すことにした。

湯けむりを上げる釜の周りを手に御幣を持った白装束の舞人10数人が全ての神々やその眷属に湯を捧げる「鎮めの舞」を舞っていた。舞殿には最前と異なり既に多くの人々が静かに見守っている。中折紙を宙にまわせ



国立公園南アルプス
赤石岳

て面神を降ろす儀式が終了すると、水の王、火の王、じいさ・ばあさ、猿からなる役面の他、遠山氏の御霊や村内の神々41面が次々に現れる。祭りは地域によって釜の数、祭りの内容、面の構成などが異なり、ここ和田・諏訪神社は釜1口、面41面の構成になっている。両腕を2人の舞人に支えられた水の王が聖なる湯に祈願の後、沸々たぎる熱湯の中に素手を突込み、荒々しく湯を跳ねまわしながら命の再生を願い続ける。もうもうと立ち上がる蒸気と舞い散る湯を浴びながら人々はその激しさと靈気に息をのむ。その頃には狭い舞殿には人が溢れんばかり。腰に両手を当て足を大きく踏み出してはのけぞるように釜の周りを歩きまわる火の王に続いて、歴史を感じさせる遠山氏の御霊や村内の神々が次々に同じ仕草を3回ずつ、釜の周りをゆっくりゆっくり廻り歩く。僅かな明かりと燃え盛る火、粛々と繰り返され





る単調な仕草、そして人々の息使い・・・、別世界に迷い込んだようだ。

笹を束ねた湯タブサを手にした天鈿女命「ばあさ」が湯釜に笹を浸しては村人を祓って歩き廻る。このばあさは何と「ションベンバアサ」とも呼ばれるそうで一体どういうことなのか???。出遅れた「じいさ」がこのこの出てくるが半周位したところで役人に呼び止められ問答の末に上衣も刀もとられあげられ「ばあさ」を抱くように元へ帰る。何を意味するのか不明であるがコミカルな仕草が笑いを誘う。

長時間続いた白と墨染の衣装と舞台に初めて真っ赤な衣装をつけた猿面が登場、手に扇子と御幣を持ち東西南北角々で飛び上っては舞い廻る。猿が舞うことで村々から災忌が「去る」ことを願うメの舞台なのである。

現代に生きる我々は冬至を単なる季節の節目として「かぼちゃを食し」「柚湯に浸かる」程



度の位置付けであるが、古来洋の東西を問わず生命の源である太陽の最も沈む冬至には特別な意味を持つ祭りや宗教行事が行われ、現在でも姿を変えその伝統が引き継がれている所は多々あります。

ここ山深い遠山の里では厳しい冬を前にして、太陽の復活再生すなわち命の生まれ変わり一陽来復を祈願する祭りはきわめて自然であり、この祭りを待ちわびる人々の心情がひしひしと伝わる。

神楽や宗教行事の多くはそれぞれ深い意味合いや教義を持ち合わせながらも、他方華やかさや芸術的要素を持ち合わせているが、ここ霜月祭りは最初から終わりまで古風で伝統的な宗教行事そのものであった。湯釜を中心に僅か1メートル幅ほどの狭い舞殿、舞人の息づかいが真近くに聞こえ、時に激しく時に荘厳に変化する舞、セピア色に染まった白黒映画のシーンの様な光景は、異次元の冥界に迷い込んだ思いがしたのです。

翌朝、遠山城からながめた和田郷の集落は、山裾に輝く日昇とは無縁にひっそりと静まり返っていた。

ふと足元を振り返ると朝の冷気の中、敷かれた玉砂利の僅かな隙間から白百合が一本、凛として・・・。



嗚呼 紫峰筑波を望む石岡、 根小屋代々十二神楽

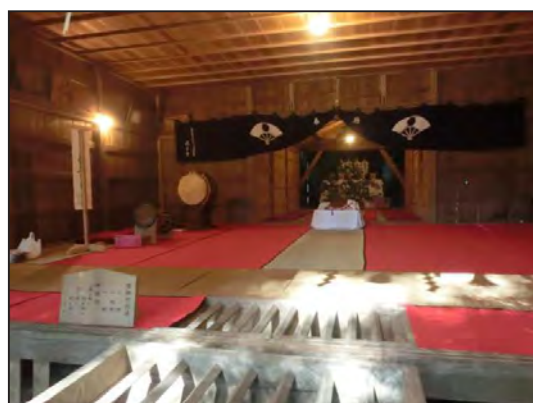
コロナ感染者も大分落ち着いてきた新緑の花見時、ここ数年急増した外国の観光客の雑踏が戻らぬ前、自由に闊歩できるチャンスを逃すまいと京都へでかけたのですが・・・

何たること「好事魔多し」、御室の仁和寺で定期入れを紛失してしまったのです。

幸い後日山内の蓮華寺から連絡があり不動明王のお札と共に無事手元に戻りましたがこれもなにかの御縁とありがたく感謝と安堵の思いをしていた折り、たまたま覗いた書店の店頭で澤田瞳子の「落花」の内容説明札に興味をそそられました。

「主人公は平安中期、真言宗の声明を中興大成した御室仁和寺の「寛朝」、舞台は関東常陸の国、勇躍する平将門、その出会いと別れ……雄渾な歴史小説である??・・・。」キーワードは「御室仁和寺」、これは不思議な偶然・奇縁を感じ即時購入、興味をもって一気に読み切りました。

霊峰筑波山を望む常陸の国府の所在地であり多くの史跡や旧跡、民俗芸能等の存在と共に県名発祥の地となった旧茨城郡「石岡」の二文字が新たに脳裏に貼り付いたまま秋冷の時節を迎え、しかも風味豊かな常陸秋そばが待っている



ことを思えば、江戸ソバリエ会員としては腰を上げざるをえないのです。

片野城跡の一角に在す七代天神社は戦国時代、太田道灌の四世の孫にあたる武将・太田美濃守資正が当城の守護神として美濃太田佐竹郷天神林鎮座の七代天神を迎え、神楽を奉納したことが始まりと伝えられている。変化に富む気品と「ジャカモコ・ジャン」と奏でる音色を持つ四百数十年の歴史と伝統を引き継いできた「根小屋代々十二神楽」は演目種類が十二座に分かれるので十二神楽と言われ、又代々この地に生まれた長男に引き継がれたことから、代々神楽とも呼ばれて現在は市指定無形民俗文化財として地域に根ざした民族芸能として継承されているものです。

少女2人の巫女舞奉納からはじまり猿田彦命による「槍の舞」、「豆撒の舞」「田耕の舞」「鯛釣りの舞」そして手力男命、天鈿女命、天照大



国土緑化切手
筑波山



神による「岩剥がしの舞」まで、途中2度にわたる餅まきなど変化にとんだ舞と共に地域の人たちの表情、雰囲気大いに興味をもつてのぞんだのですが・・・・・・なんと？

城跡への坂道を辿っていると上からビニール袋を提げた子供たちが数人、一回目の餅まきが終了したと思い足早に上っていくと地元の人が「今日はもう終わったよ。」と気の毒そうに声をかけてきました。予期せぬ一言を半信半疑のまま神社の境内まで出向くと、境内にはすでに参拝人の人影はなく僅かに数人の世話役が始末をしているところでした。本殿に参拝後話を聞くと紅白の餅を差し出ししながら、新型コロナの感染拡大の下、2年間中断を余儀なくされ、今年再起を願い段取り、設営をしたが、舞台上演する人が集まらず、やむなく巫女舞と餅まきだけで終えたと申し訳なさそうに説明してくれた。改めて拝殿を眺めていると濃紺の横断幕を前に激しく且つ優雅に舞う舞人の影と無念の神楽囃子が響いてくる思いがして、急に寂しさを感じたものです。地域の人々の心を結ぶ貴重な舞台が再開復活することを願うばかりです。

静謐感漂う杉並木の参道、見下ろす集落の田園風景、彼方に聳える筑波の秀麗をしっかりと頭に畳み



込み、無念の涙を飲み込みながら山を下りることにした。

柿の実がたわわに実る筑波山東麓の街道を右に折れ真壁への峠道を駆ける。

つくばねの峰より霞ヶ浦へ注ぐ恋瀬川の沢沿いに水車が1基、今も現役で稼働しているのだ。石岡セレクト認証品である「水車杉線香」は近辺の杉の葉を水車で挽いて粉にするという伝統的な製法を守る香り豊かな手造り線香、何とかこの目で製造工程を確認したい・・・・。幸い家主が在宅中で水車の現場を案内して頂くことができました。

沢の淵から引いた木製の樋を伝って流れる水は水車の回転音に転じ、心地よい響きとなって聞こえてくる。水車小屋を開いてもらおうと爽やかな杉の香りと共に水車の樋音が力強く腹に響く。山と積まれた杉の枯れ枝の奥には木製の歯車が休みなく回転し10本ほどの木製の樋を上





下させている。弾き終えた茶色の杉粉を指でつまむと、いとも簡単に風に舞った。昨今は悪名高き杉花粉であるが当地では杉線香の生みの親、宝物なのです。その後の工程は沢の水で沸かした湯で練り上げるだけの無添加純正の杉線香として生まれ変わるのです。

この時期、庭先にはこの地域特産で酸味の強

い小型みかんが鈴なりになっていました。福が来ると書いて「フクレミカン」というめでたい品種です。

無念と安らぎの錯綜した複雑な一日でした。



最終回、予期せぬ結末となりましたがこれが現実の姿であることを再確認した次第です。

折しも、石岡行の2日前、新聞紙上に地域の伝統的宝物を維持、持続するための苦悩の実態が記されていましたが、地域活性化の原点である人々の絆、結、維、組、縁…といった系へんをじっくり見直す機会になってほしいのです。

一方、盆踊りや念仏踊りなどの「風流踊り」がユネスコの無形文化遺産に登録される見通しになったとの朗報もあります。これを機会に身

近かな芸能や伝統文化に目を向ける人が増え継承活動に弾みがつくことを期待したいと思います。全国にはまだまだ多くの民族芸能や伝統行事が残っていますがいずれもかけがえのない遺産です。保存や伝承には課題も多いとおもいますが人と人を結びつける「地域の宝」であることを再確認しようではありませんか。

・・・じっと耳を澄ますと今日もどこかで神楽囃子の響きが聞こえてくるようです・・・

日本切手 2022 年発行状況

2022 年の切手発行は表 1 の通りでコロナ禍の影響はなくなり、オリンピックというお祭りも終わり過去 20 年の流れからみると落ち着きを感じさせる。(図 1)。発行件数は 39 件とかなり少なくなったが、2006 年頃からのシールシート発行の影響で種類は減らない。加えて、2022 年はカタログ収集の者には困った形の発行が生じている。通常は 10 種で 10 枚のシート構成の発行であるのが、グリーティング切手に加えて記念切手の半数が 10 種でなく、5 種、2 種という発行であり、重複の購入を強いられる切手になってしまった。日中国交正常化 50 周年切手などは 2 種を手にするには余分に 8 枚を購入しなければならない。このことは昨年の海洋研究開発機構創立 50 周年切手からみられたことで、2022 年はシリーズ切手も含め合計すると 113 枚(約 9400 円)も余分な切手を購入させられている。今後このような発行が記念切手でも常態化してしまうのであろうか。

発行目的別に整理すると表 2 の様になり、2010 年頃から特殊切手の主役が記念切手からグリーティング切手、シリーズ切手に移っ

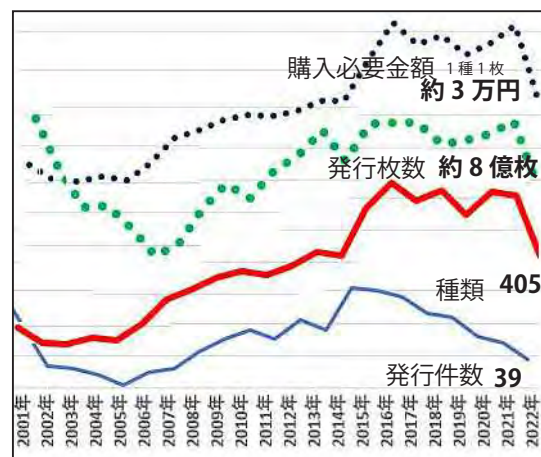


図 1 過去 20 年切手発行の変化

表 1. 2022 年発行切手一覧

	発行目的	発行内容	種類	発行数	切離
1	グリーティング切手	グリーティング (ライフ・花)	20	3200	シール
2	グリーティング切手	春のグリーティング	10	3900	シール
3	グリーティング切手	宝石・鉱石～自然の芸術～	20	2200	シール
4	グリーティング切手	グリーティング (シンプル)	2	60	シール
5	グリーティング切手	ハッピーグリーティング	6	5500	シール
6	グリーティング切手	グリーティング (シンプル)	2	5501	シール
7	グリーティング切手	夏のグリーティング	20	3400	シール
8	グリーティング切手	グリーティング (ライフ・花)	20	4500	
9	グリーティング切手	海のいきものシリーズ	10	300	シール
10	グリーティング切手	キャラクター	20	3500	シール
11	グリーティング切手	秋のグリーティング	10	3300	シール
12	グリーティング切手	ぼすくまと仲間たち	20	2700	シール
13	グリーティング切手	冬のグリーティング	10	3500	シール
14	シリーズ切手	My 旅切手シリーズ第 7 集	20	2400	シール
15	シリーズ切手	「自然の記録」シリーズ 第 2 集	10	2000	シール
16	シリーズ切手	江戸～東京シリーズ第 2 集	20	1800	シール
17	シリーズ切手	おもてなしの花第 18 集	10	4300	シール
18	シリーズ切手	美術の世界シリーズ 第 4 集	20	2800	シール
19	シリーズ切手	世界遺産シリーズ第 14 集	10	500	シール
20	シリーズ切手	世界遺産シリーズ第 15 集	10	500	シール
21	シリーズ切手	おもてなしの花第 19 集	10	4400	シール
22	シリーズ切手	絵本の世界シリーズ第 6 集	10	2750	シール
23	シリーズ切手	おいしいにっぽん第 4 集	20	2800	シール
24	記念切手	沖縄復帰 50 年	5	700	シール
25	記念切手	モンゴル外交関係樹立 50 年	10	700	シール
26	記念切手	ボーイスカウト 100 年	5	700	シール
27	記念切手	鉄道 150 年	10	600	シール
28	記念切手	日中国交正常化 50 年	2	700	シール
29	記念切手	調停制度発足 100 年	5	600	シール
30	記念切手	国宝シリーズ第 3 集	20	2100	シール
31	記念切手	税関発足 150 年	2	500	シール
32	毎年発行	切手趣味週間	3	600	目打
33	毎年発行	国土緑化 (滋賀県)	5	500	目打
34	毎年発行	ふみの日	4	2800	シール
35	毎年発行	第 77 回国民体育大会	10	400	目打
36	毎年発行	国際文通週間	5	1000	目打
37	年賀切手	年賀切手令和 4 年用	2	6	シール
38	年賀切手	年賀切手令和 5 年用	4	1960	シール
39	販売品	ぼすくまおたよりセット	3	4.5	シール

■ は数以上に購入が必要な切手

表 2. 発行目的別切手発行状況

発行目的	件数	種類	枚数	料額
グリーティング切手	13	170	41561	12785
シリーズ切手	10	140	22800	10626
記念切手	8	59	6600	4746
年賀切手	2	6	1966	447
毎年発行	5	27	5300	2219
販売品	1	3	4.5	360
合 計	39	405	79431.5	31183

たことがますます強くなり、グリーティング切手がより多くなっている。2022 年は販売品なる理解に苦しむ切手が 1 件の発行であったことはホッとす。2010 年代半ばで 50% をこえ、年々増加しているシール切手は 2022 年は発行枚数で 97% となった。国

体、国土緑化、切手趣味、国際文通切手がい
つまで目打の切手で発行されていくか興味
がある。

次に、いくつかの点で疑問、注意された点
を記してみたい。

誰の、何のための記念切手か

2022 年の記念切手は過去 20 年平均の 8
件発行されているが、その内容に問題を感じ
る。発行内容すべてが表 3 に示す如く 2 回



1972 年発行
学制 50 周年切手

目以上の発行であること
だ。更に、50 年前 1972
年発行の記念切手をみる
と 100 周年として発行
されてしかるべき内容の
切手が存在する。学制
50 周年切手である。この
選択が妥当か考えてしま

表 3. 2022 年発行記念切手の発行履歴

2022 年発行	過去の発行
沖縄復帰 50 年	2012 年 2002 年 1997 年 1992 年 1982 年 1972 年
ボーイスカウト 100 年	1972 年
日中国交正常化 50 周年	2012 年 2002 年 1992 年 1982 年
日本・モンゴル外交 関係樹立 50 年	2002 年 外交関係樹立 30 年 樹立と創立、時が表裏を 変えるのか
鉄道 150 年	1972 年 1947 年 1942 年
調停制度発足 100 年	1971 年 創設は 1971 年 発足は 1972 年
税関発足 150 年	1972 年

う。国民全体が対象となる制度と一部の参加
者を対象とするボーイスカウト活動と比較し
た時、頭に疑問が生じた。

記念切手は記念内容を広く知ってもらい啓
蒙する役割が多きことを考えると、売上げの
点からだけ発行されることが無いよう希望す
る。この点からすると、甲子園球児のヘルメッ
トに記された野球伝来 150 年なども考慮さ
れてもよかったのではないかな。

次に、過去の記念切手を並べてふと感じさ
せられることがある。それは発行目的・内容・
対象が狭く限られてきているのではないかと
いうことだ。

1960 年代から 2000 年頃までは国際的
な運動に合わせた記念切手がみられたが、
2000 年以降少なくなっているようだ。世界
年、世界デーの切手を整理してみると、90
年代 14 件発行されたが、2000 年以降は 3

件である。また、医学をはじめ
として各種学会の世界大会開催
切手が同機関には多く発行され
ており、さらに、政治、外交的

国際年の切手



国際デーの切手





学会の世界会議開催



各種団体、機関の世界会議、大会開催

な会議を除いて種々の国際会議開催切手も学会以上に多く開催されていることが発行件数からわかる。2000 年以降 20 年で学会関係は 4 件でそのうち 2002 年世界精神医学会 1 件のみ国際学会で、残り 3 件は国内学会。会議も 2005 年 国連防災世界会議など 13 件と明らかに少なくなっている。日本の世界での立ち位置の変化、郵政民営化等による記念切手発行の選択基準の変化、そして 10 種シール発行の影響等を考えてしまう。

今年も記念切手は外交関係記念事項も含めすべてシールとなり、残る関心は皇室関係記念切手がいつシール切手で発行されるかである。

切手印刷の 70% をトッパン、トッパ！！

昨年、印刷機関別特殊切手の印刷割合に変化を指摘したが、2022 年は更に大きな変化が図 2 の様に見られた。海外での印刷がさらに減じ、Cartor Security Printing にいたっては 2020 年に 50% を印刷していたのが全く

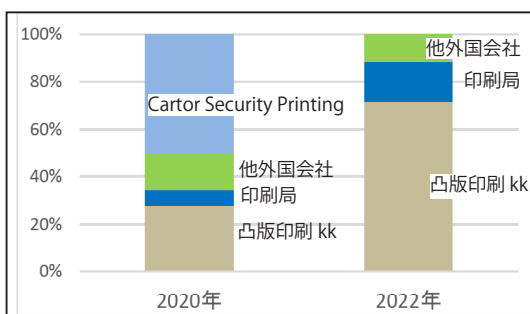


図 2 特殊切手の印刷施設別割合

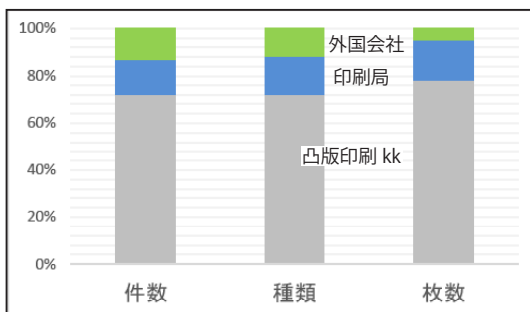


図 3 特殊切手の印刷施設別割合 2022 年

見られなくなってしまった。対して凸版印刷 kk が印刷件数、種類、発行枚数、どの面でも 70% を占めている (図 3)。なぜ、外国業社が減じたのか。円安が進むであろう 2023 年はどうなるか。

細長切手の発行

2022 年の切手の中に非常に細身でスマートな切手を見つけた。竹久夢二の花図案を題材にしたグリーティング (ライフ・花) 切手 20 種の中の 6 種である。



グリーティング (ライフ・花) 切手

本会報 68 号の変形切手の記事で見返り美人切手を長すぎる変形切手と扱ったのを思い出し、この 6 種の切手が長方形切手の中での位置づけを確かめてみた。表 3 に見るように見返り美人切手の約 7cm × 3cm の大きさはさすがの大きさであるのに対して竹久夢

表3 主な細長切手

	発行内容	短辺	長辺	比
1	1948 見返り美人	30.0	67.5	2.25
2	1949 月に雁	30.0	67.5	2.25
3	1997 日本チリ修好	21.6	47.0	2.18
4	2013 切手趣味	22.5	48.0	2.13
5	2014 新幹線 50	22.5	48.0	2.13
6	2017 切手趣味	21.5	48.0	2.23
7	2018 ファッション	21.5	43.5	2.02
8	2018 動物シリーズ	19.0	40.0	2.11
9	2019 切手趣味	21.5	48.0	2.23
10	2022 グリーティング花	18.5	48.0	2.59

単位 mm 比は長辺 / 短辺

2.25

2.23

2.23

2.18

2.13

2.13

2.59



1970年ブダペスト解放25年 短辺26mm, 長辺132mm 比5.01
して伝えることができたのではないだろうか。
また、国宝シリーズ第3集～東京国立博物館
創立150年～切手では博物館所蔵国宝から採
用したとだけ記し作品名だけで良しとするの
であろうか。こちらもHP上、リーフレット
で作品の紹介と国宝となった意味などを記し
ていただければ、どれだけ切手発行が意味を
持つであろう。

デザインの扱いを2002年切手趣味週間切
手に振り返ってみると下記のように丁寧な説
明が記されている。

二・花切手は長辺 / 短辺が2.59
と今までにないスマートな切手
である。世界ではどこまで長い
切手があるか少し調べた。右上
のハンガリー1970年発行のブ
タペスト解放25年切手で比は
5.01という切手が見つかった。
ふと見返り美人の長辺と夢路の
短辺で切手を試作してみたくな
り悪戯したのが左図である。こ
の程度までであれば使用可であ
ろうか。比は3.64である。

稲門 POST 2022



24

切手をもっと丁寧に扱って欲しい

毎年、述べることをためらってきたのが切
手のデザインとデザインに対する説明のお粗
末さが増してきたことである。鉄道150年
の切手は過去の鉄道切手の中で最悪の切手と個
人的に感じてしまう。鉄道シリーズのデザイ
ンの方がはるかに車両の特徴を感じ取れる。
加えてHPのデザインの説明は車両名と「鉄
道開業150年を振り返り、時代を代表する革
新的かつ画期的な車両を題材としました。」と
言う文のみである。リーフレットには「鉄道
開業当時を描いた浮世絵を背景に、開業150
年の歴史を振り返り、その当時の革新的な車
両たちを集めました。」とある。両文にある革
新的な車両の内容を簡単に説明することが最低
必要ではないかと考える。リーフレットの
裏面の圧倒的な白紙部分に各車両の革新部
分の記述があれば鉄道150年の意味を切手を通



せめて、文化財、天然記念物を扱う切手のデザ
インにだけでもこの程度の悦明が欲しい。時折
発行される通常版切手帳に記される内容の半分
でもリーフレットに記し、切手を大切に扱って、
日本切手に夢を持てることを願い、12年の本
シリーズの筆を終了とする。 小川義博

2つ DATABASE で

KEYWORD 「クリスマス」で検索

前回に用意の文章は次回にお願いし、今回は、時節を考え「クリスマス」で検索。果たして2つの DATABASE でヒットするものがあるか不安をもってクリック。やはり切手でヒットするものは数えきれないほどあるが、厠 DATABASE では2件しかヒットしない。カガネー人形、サンタクロースの2件である。

●カガネー人形

カガネー人形とは。12月 スペイン バルセロナ カテドラル前の広場にはクリスマス用品、人形などを売る売店が並ぶ、その人形の中にとんでもないカガネール、カガネー(Caganer) ウンコたれ人形がたくさん並ぶ。それは何人も避けて通れない行為、排せつ行為を人形にしたものである。自然から得た物を自然に歸し、豊作を願う気持ちと、偉そ



うにふるまってる人だってみな同じことするんだという、この地方の人の現実を見つめるしっかりした姿勢を示している。この人形、手のひらに軽く乗るぐらいのサイズであるが意外に値が高い物のようだ、わたくしが手に入れたものは1800円もした。

この人形が1997年アンドラ公国(スペイン語)のクリスマス切手として発行され、我が厠 DATABASE にクリスマスの KEYWORD で登録されていたのである。



1997年アンドラ発行
クリスマス切手

この人形の面白いのは避けられない行為をしている一般市民から政治家、学者、王族、

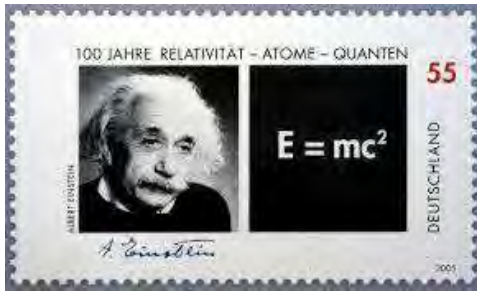


法王まで幅広く全てを人形にしていることである。

どんな方々が人形になっているか探して、切手と無理やりコラボしてみました。

これが自然に返す意味をこめたスタイルか

学者ではアインシュタイン



ドイツ 2005 年発行
アインシュタイン
相対性理論 100 年

機熟さず
一物はまだ
二石には成らず

芸術家では ピカソ ダリ



ポーランド 1981 年
発行ピカソ生誕 100 年



モナコ 2019 年
発行 ダリ

カガネ人形の生地はカタルーニャ州の州都バルセロナ、バルセロナといえばガウディ、そしてサグラダ・ファミリア。



スペイン
2002 年発行
サグラダ・ファミリア

政治家は勿論、王室関係も対象となり、法王まで見つけられるが、どうしてかスペイン王室の人形は見つけれない。



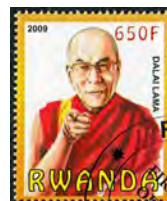
リベリア 2008 年発行オバマ大統領



英国 ROYAL FAMILY は揃ってます。



宗教界のトップも勿論のこと。スポーツ、芸能界も対象とされ、人物でないものまでもが対象となっている



ルアンダ 2009 年発行
ダライ・ラマ



ドイツ 2007 年発行
ローマ法王



ギリシャ 1938 年発行
ミロ ヴィーナス



68 種発行
ドラえもん切手

●サンタクロース

クリスマスでヒットしたもう1件はサンタクロース、こちらも厠 DATABASE では1件しかヒットしないが、切手 DATABASE では数えきれない件数。

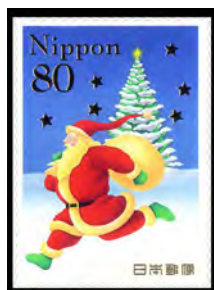
切手でヒットしたのは各国のクリスマス切手とわが国のグリーティング切手である。



左
2007年オーストラリア発行
クリスマス切手50年記念

下
2014年スイス発行
クリスマス切手

左下
2005年発行
冬のグリーティング切手



厠 DATABASE でヒットしたのは「さむがりやのサンタ」というえほんである。なぜこのえほんが DATABASE に記録されているのか、このえほんに描かれている住宅の様子に理由がある。サンタの住いとプレゼント先の住宅である。



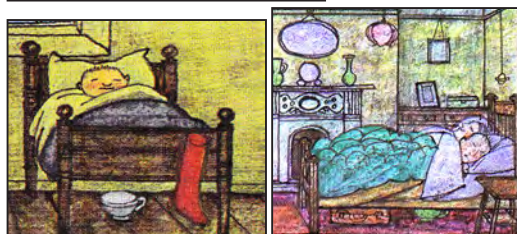
レイモンド・ブリッグズ作
1974年福音館



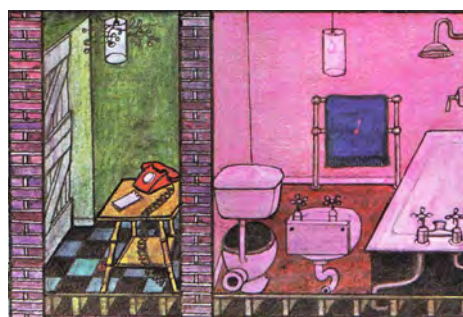
サンタの足元に注意してください、サンタは排泄を2ヶ所ですてたようだ。



プレゼント届け先の住宅。駐車した車から1960年代の住宅と考える。寝室のベッドの下に注意するとここにも……。そしてトイレは立派なビデもあるのだが。ズームインしてみたのが下図



子供のベッド下、両親のベッドの下にはチャンバーポットが置かれている。



バス・トイレは現代の水洗式トイレ、ビデ、シャワが設備され、チャンバーポットを使用する生活は考えにくい。

排泄場所を基本的に持たずチャンバーポットという道具で対応してきたヨーロッパ社会が水洗トイレを手にしても道具を使用していることを考えさせる。オーストリアの民家園の多くにもこのような情景がみられたことを思い出す。上流社会ではベッドの



下ではなく、
寝室の豪華な
家具に豪華額
縁の絵画と同
等に扱われ収
納されている。

目を我国に
転じると、特
異な例かもし
れぬ使用を池
澤会員から教
えて頂いた。



Gallery MAMPEI
ポー（携帯便器）。
客室にトイレがなかった時代、ナイトテーブルの
下に置かれていました。
汚物処理は従業員の毎朝の仕事でした。
1902年（明治35年）頃

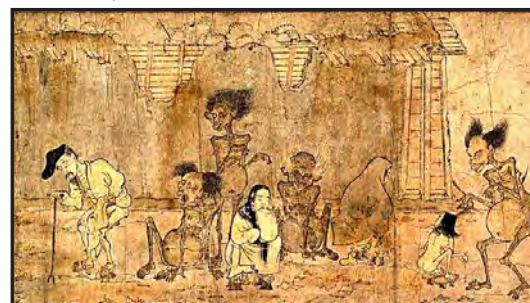
で窓から”ギャルデ・ロー（頭上、水に注意）”
という声とともに路上に Cityshower とな
って処理される。時代考証され映画のシーンに
もなっている。このシーンから国宝・餓鬼草
子の平安時代、京の小路で高下駄を履いた人



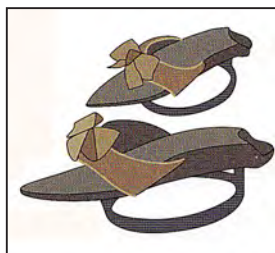
Cityshower を描いた 18 世紀の画



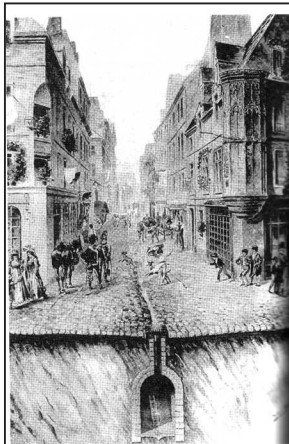
1998 年アカデミー賞映画「恋に落ちたシェイクスピア」で描かれた 16 世紀末のロンドン労働者住宅
地での Cityshower と足元路面。



12 世紀後期、庶民の排便の様子も反映していると考えられる国宝・餓鬼草子（部分）人がすべて高下駄を履いている。



の姿が思い出され
る。この道路事情に
はヨーロッパでも靴
の下に履くオーバー
シューズというハイ
ヒールのきっかけと
なるものが出現し
ている。この環境
を改善するため下
水が設置され時代
とともに河川汚染
問題へとうつる。



Cityshower を流すみぞを路
面にとり下水を設置、しか
し下水処理施設は未設置
く。1500 年代半ば
以降来日した宣教師は皆、清潔な社会環境に
驚愕した手記を残している。

今回は非常に偏ったコラボ報告になってし
まったと反省させられます。お許しを。

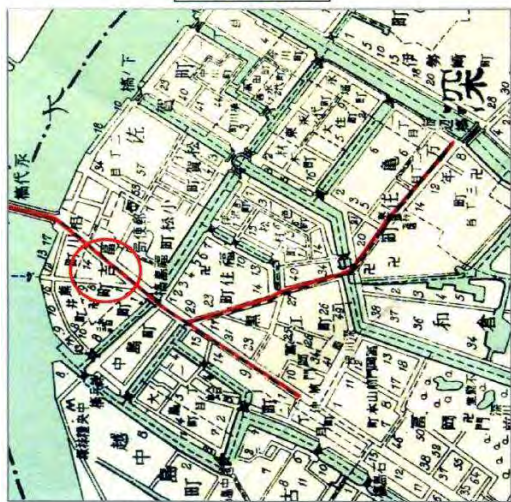
小川義博

明治の東京・深川 郵便局ぶらり散歩 (3)

鎌倉 達敏

9. 深川富吉町局のぶらり散歩と郵便印

明治の地図



所在地：深川区富吉町

現代の地図



現在の地名：江東区佐賀1・永代1

4 局目は、深川富吉局のぶらり散歩です。深川富吉局の局歴は、下枠の記述とおりで、明治 19 年 3 月 31 日に廃止になっており、開局期間は 7 年程の短命な局（郵便受取所）でした。近隣に深川郵便局が設置されたためと考えられます。

深川富吉町局

- ・明治12.- 郵便受取所として設置
- ・明治14.7.1 郵便分局に改定
- ・明治16.3.1 富吉町 郵便受取所に改称改定
- ・明治19.3.31 廃止

永代橋



現在の周辺写真

撮影方向 上図→方向



所在地は、営団地下鉄門前仲町駅から徒歩約 10 分、永代橋の橋詰で、現在近くに江東永代局があります。



深川富吉局の郵便印として代表的なリーフを紹介します。

明治 16 年 4 月 23 日、深川佐賀町発信、讃岐多度津宛ての手形入り書留便です。

この当時、南深川郵便支局の管内でし

たが、自局、連合局宛の補助便以外の郵便物の切手抹消は、東京本局のみで実施

されていたため、引き受け証示印として、

「東京・深川富吉町・郵便受取所」の二重丸型局所印が使用されています。

深川富吉町局

明治16.3.1~19.3.31

二重丸印「N3B3」+東京ボタ印

郵便受取所

二重丸型証示印

この時期、南深川郵便支局の時代であるが、自局、連合局宛の補助便以外は、東京本局の抹消となった。

書留の証示印として、深川富吉町郵便受取所の二重丸型証示印が使用された。



深川富吉町
郵便受取所
二重丸型証示印

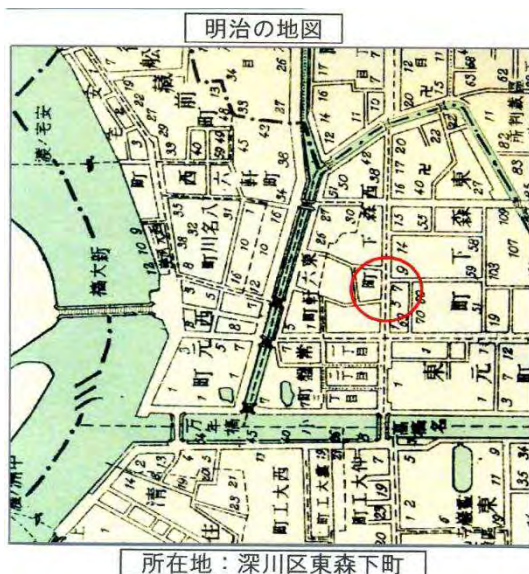


東京ボタ印+東京N3B3 明治16年4月23日子便

→ 多度津KB1 讃岐 4月28日午前

旧小判2銭(青味紫)4枚貼り書留便 (書状2銭+書留6銭: 合計8銭)

10. 深川東森下町局のぶらり散歩と郵便印



5 局目は、深川東森下町局のぶらり散歩です。局歴は、下枠の記述とおりですが、「北深川」局廃止に伴い、明治 18 年 9 月 1 日に郵便受取所として開設されます。

- | | 深川東森下町局 |
|-------------|----------------------------|
| ・明治18.8.31 | 北深川局 廃止 |
| ・明治18.9.1 | 郵便受取所として設置
設置名称「東京東森下町」 |
| ・明治27.2.1 | 東森下町に改称 |
| ・明治31.11.16 | 深川東森下町に改称 |
| ・明治37.12.21 | 深川高橋に改称
郵便電信受取所に改定 |
| ・明治38.4.1 | 三等無集局に改定 |



地下鉄森下駅近くに森下町局が、無集配普通局として残っています。

近くには、葛飾北斎の富岳三十六景の題材となった「深川万年橋」があります。

所在地は清澄通り、高橋交差点、高橋夜店通り入り口付近のエリア。その後、町名変更で、高橋局と改称され、現在は、
富岳三十六景・深川万年橋下 森下町局



(1999年国際文通週間)



欧文印



和文ローラー印



欧文ローラー印

深川東森下町局の郵便印として代表的な3リーフを紹介します。

最初のリーフは、書留封書便です。深川郵便支局の時代ですが、郵便受取所

扱いの書留便は東京本局の切手抹消でした。書留引き受けの証示印として、深川東森下町郵便受取所の二重丸型証示印が使用されています。

深川東森下町局

明治18.9.1~37.12.20

武蔵東京 丸一型日付印

郵便受取所

二重丸型証示印

深川郵便支局の時代であるが、郵便受取所扱いの書留便は、東京本局の抹消であった。書留の証示印として、深川東森下町郵便受取所の二重丸型証示印が使用された。



武蔵東京 明治22年2月17日八便
旧小判4銭(青緑)2枚貼り書留便
(1種便2銭+書留6銭:合計8銭)



深川東森下町
郵便受取所
二重丸型証示印



第付き手書き番号
第三九号



(裏面 縮小80%)
切手抹消局は深川局から
東京に変更になっている

2 リーフ目は、明治 29 年 7 月 4 日発信の小包送票です。この時期になると、郵便受取所引き受けの小包便の切手抹消は武蔵・東京深川局の丸一型日付印により行われています。

小包引き受けの証示印としては、東森下町郵便受取所の二重丸型証示印が使用されています。明治 27 年 2 月 1 日に局名改称しており、「深川」の名称が無くなっています。

深川東森下町局

武蔵東京深川 丸一型日付印

郵便受取所

明治29.7.4
二重丸型証示印

深川郵便電信支局の時代であるが、郵便受取所扱いの小包便は、深川支局の抹消であった。小包送票の証示印として、東京・東森下町郵便受取所の二重丸型証示印が使用された。



東京・東森下町
郵便取扱所
二重丸型証示印

小包送票

(甲) 票		送		包		通		小	
印附日局立差	要 摘	欄付貼手切便郵	日年月	印 認 承	番 目	量	程里		
 東京東森下町郵便受取所 日付印 明治29年7月4日 局名 東森下町 局 小 郵 第 一 號 明治二十九年八月一日	東京東森下町郵便受取所 配達局名 東森下町 局 印附日局達配		明治 29 年 7 月 4 日 事 記	名氏所宿人取受 名氏所宿人出差	全 送 受	万 里 迄	第 四 千 七 百 七 十 七 號	甲斐・日下部	

武蔵・東京深川 明治29年7月4日ハ便 → 甲斐・日下部 明治29年7月7日口便
新小判8銭(青紫)3枚貼り小包便 (合計24銭)

3 リーフ目は深川東森下町郵便受取所発信の書留便 2 通。この時代になると、書留証示印の替わりに東京深川局の書留番号票が使用されています。左は縦型番号

票、右は横型番号票で、共に「深川東森下町」の局所略号として「東」が使われています。切手抹消は東京深川局の丸二型日付印（時刻表示）です。

深川東森下町局

明治35.12.20~36.7.7

東京深川 丸二型日付印

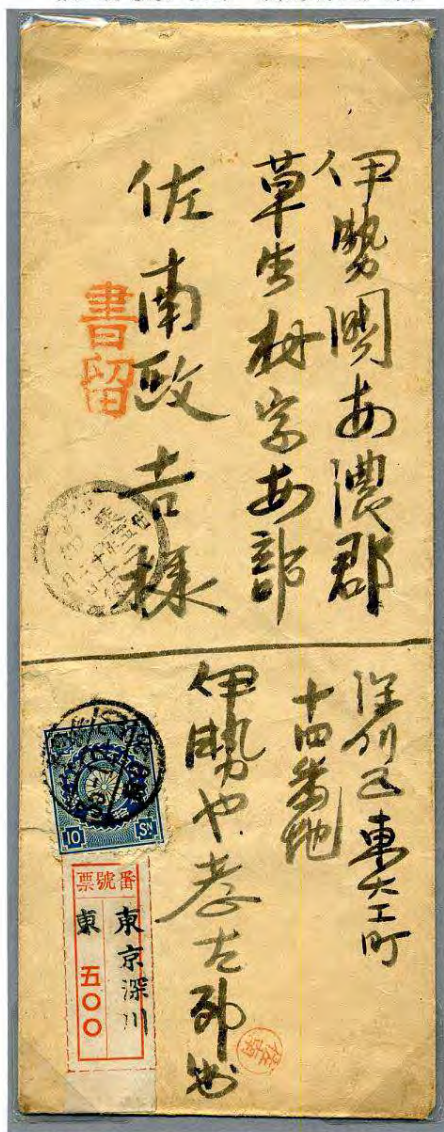
郵便電信受取所

書留番号票

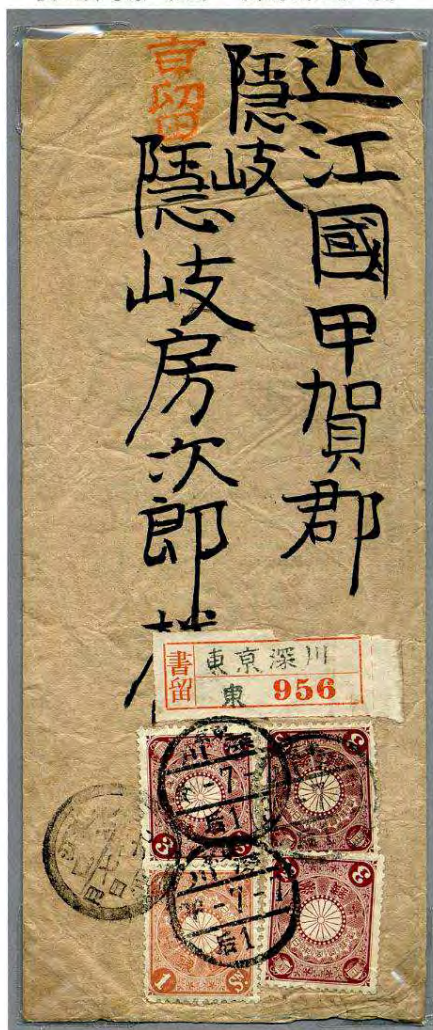
深川・東森下町郵便電信受取所は、書留番号票の局所略号として「東」を使用した。

縦型番号票 (R3) (東京深川/東)

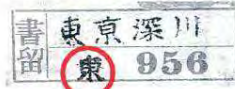
横型番号票 (R2) (東京深川/東)



東京・深川 明治35年12月20日前0.20
→ 伊勢・栗加 36年12月20日ハ便
菊10銭(にぶ青)貼り書留便
(1種便3銭+書留7銭：合計10銭)



東京・深川 明治36年7月7日后1
→ 近江・水口 36年7月9日イ便
菊3銭(暗い赤紫)、1銭(赤茶)各2枚貼り書留便
(1種便3銭+書留7銭：合計10銭)



西村寿一郎さんの訃報に接して

小林 彰

本年 5 月 3 日「関東郵趣連合」、同 5 日「墨東郵趣会」それぞれの総会が恒例の浅草で開催予定されていました。西村さんが参加されるなら小林も参加しようと、5 月 2 日に出欠を伺うためご自宅にお電話したところ、奥さまから、ご本人は電話に出られないと言っているとのことご返事でした。そして 7 月 9 日ご逝去されました。正に郵趣界の巨星落つ。

西村さんとの初めての出会いは 1992 年の全日展の会場でした。小林は商社勤めでアルジェリアに 2 回駐在していて、3 回目の駐在地はカナダのモントリオール。当時の収集対象はフランス・クラシック伝統郵趣と在横浜フランス局でしたが、モントリオール駐在をきっかけにカナダのアドミラル・シリーズも対象に加えました。

カナダ駐在から東京に帰任後、1992 年にアドミラル・シリーズを「全日展」に初出品。初日か二日目に会場で 5、6 人の方が「アドミラル」を熱心に見ておられました。お声をかけると「とつくに会」の方々でした。その中に西村さんもおられ、同会と切手研究会への参加を強く勧めていただきました。当時の「とつくに会」会長は早大切手研の大先輩、根岸さんでした。全日展は早大切手研の創設



者・金井さんをトップとする「日本郵趣連合」主催で開催されていて、根岸さん、西村さんは重責を担っておられました。

西村さんは早大ご出身ですが、早大切手研には入会されていませんでした。ご本人によると入学式当日、新入生に入会を薦める数多くの研究会のブースがキャンパスに溢れていて、一つ一つ見て歩いていたが「切手研」には気付かず最後のブース「考古学研究会」に行き着き、その俛、同研究会に入会された由。

とつくに会の皆さまは根岸さんや西村さんを始めとして外国切手の大家と伺い身の引き締まる思いでした。因みに切手展初出品のアドミラルは銀賞でした。

翌年にはフランス・フラシックを出品し郵政大臣賞、さらにその翌年にはフランス横浜郵便局を出品し大臣賞受賞。これは一重にとつくに会の皆さま、特に西

村さんのご指導の賜物でした。

その後「とつくに会」の月例会に出席させていただき、先輩諸氏のご指導を受けました。1994年には韓国で国際展がありました。西村さんのお勧めもあって初めて国際展に在横浜フランス局を対象に出品申込。ところが開催直前にマダガスカル事務所長の発令があり、会場のソウルに足を運べなくなり、作品を西村さんに現地に持参あるいは郵送いただくことになりました。

小林は1998年に商社を定年前退職し、退職の翌日にマダガスカルで日本政府無償援助 ODA による小学校建設工事を受注した建築会社に再就職。上記作品を1999年のフランス・パリ開催の国際展にも出品いたしました。この時も西村さんにパリまで送付いただいたのです。2000年の全日展ではわが国で初めて写真付切手シートが発売されることになり、大人気、買い求める人の波が延々と続き、長蛇の列。大変な盛り上がりでした。西村さんが的確に対応されたお陰で混乱もなくことが運びました。とつくに会メンバーも長蛇の列に並び各人写真付き切手シートを入手。これも西村さんの助言があつてのことでした。

1996年には、西村さんがフィンランド・ヘルシンキで開催の郵便史切手展のコミッショナーを務められ、小林は当時もマダガスカルに駐在していましたが、横浜フランス局を出品することにして、作品をまたも西村さんに現地に持参いただいたのです。

小林はマダガスカルからヘルシンキ入りして西村さんと現地で合流し、連日、同氏と路面電車で会場入り。帰りがけには百貨店にも足を運ぶなど一週間、西村さんと同一行動させていただきました。

マダガスカルに「マダガスカル郵趣家協会」なる団体があり、同会会長の要請を受けて入会。当時のマダガスカルは国連加盟約 200 カ国の内、最貧国の一つで国民の平均年俸は約 10 万円（月俸ではありません。年俸です）。従って、同協会員はストックブックなどをすべて手作りしていました。切手も自国の現行使用済のみを対象にしている会員が殆どで数人が未使用あるいは安価な他国の切手を収集対象にしていました。この実情を西村さんにお話するとストックブックやピンセット、日本切手の紙付き使用済みを大量に無償提供いただきました。会員は本物のストックブックなど郵趣付属品を手にとって大喜び。他方、小林は会員の知識向上のため「日本・マダガスカル郵趣」と名付けた小冊誌を毎月発行し会員に無償配付、また年一回、切手展を開催することを提案し、優秀作品には景品を出すことにしたのです。これまた西村さんをお願いして賞品として贈与する日本切手や郵趣付属品の寄付を仰ぎました。

マダガスカルから帰任した 2007 年以降は西村さんから関東郵連や墨東郵趣会を紹介いただき、会合に顔を出し、西村さんの右隣を定席として、入札や盆回しに興じていました。盆回しでは小林の小銭が尽きると西村さんにお借りするなど正

に「おんぶにダッコ」で西村さんに頼っていたのです。

このように小林の郵趣人生は西村さんを抜きにしては語れません。収集家ともすると自分の殻に閉じこもり他の収集家とは一線を画すことが多い中で、西村さんは誰にでも分け隔てなく同じ態度で

接しておられる親分肌、正に「門前列をなす」。

小林が現在郵趣界で多少名が知られるようになったのは一重に西村さんのお陰です。西村さんに衷心より厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。どうかごゆっくりお休み下さい。合掌。



2021年11月12日から14日、目白の切手の博物館で「稲門フィラテリー20周年記念切手展」が開催され、西村さんは『香港』を出品された。TBSラジオの取材風景の背景にも西村さんの作品が写っている。

大隈重信スタンプラリー

池澤 克就

最近は全国各地でスタンプラリーが企画されています。駅やイベント会場に設置されたスタンプを所定の台紙に押し、すべて集めると景品がもらえるといった企画が一般的です。コンプリートした時の満足感が心地よく、機会あるごとに挑戦しています。今年の10月7日から30日まで、東京メトロの企画「大隈重信スタンプラリー」が開催されていたので挑戦してみました（写真1）。

スタンプが設置されたのは大隈重信にゆかりのある四か所。東京メトロの二駅（国会議事堂前駅、護国寺駅）と博物館二か所（港区立郷土歴史館、早稲田大学歴史館）でした。今回は、単にスタンプを押すだけではなく、関連する郵便局をまわって風景印とスタンプを合わせた記念品を作成することにしました。四か所を効率よくまわるには、その順番がポイントになります。最後に記念品が貰えるのは二か所の博物館ですので、ゴールは白金台か早稲田のどちらかにした方がよさそうです。護国寺駅は早稲田と比較的近いので続けて訪問することとし、国会議事堂前駅→港区立郷土歴史館→護国寺駅→早稲田大学歴史館の順でまわることとしました。

最初に訪問したのは東京メトロ千代田線の国会議事堂前駅。改札口の外に専用スタンプ台が設置されています（写真2）。



写真1 スタンプラリーのポスター



写真2 国会議事堂前駅のスタンプ

スタンプは角形で大きめ、緑色のスタンプ台でインクを付けて押すタイプです。スタンプが曲がったり擦れたりしないよう何度か試し押しをしてから、所定のスタンプ台紙や官製はがきに慎重に押していきます。

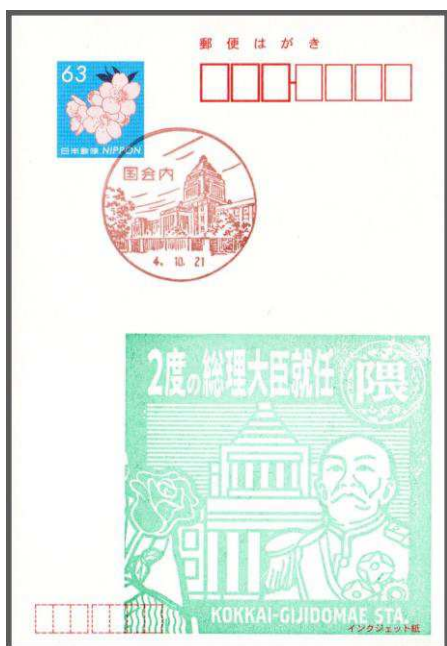


図1 国会議事堂前駅のスタンプと
国会内局風景印

国会議事堂前駅のスタンプには、国会内郵便局の風景印を合わせてみました（図1）。議事堂周辺は首相官邸などもあり警備が厳しく、職務質問でもされたら何と答えようか、などと思いを巡らしましたが、特に呼び止められることはありませんでした。

二か所目の押印スポット、港区立郷土歴史館は、東京メトロ南北線の白金台駅から歩いてすぐ。建物の入り口に専用のスタンプ台が設置されていました。この建物、東大の安田講堂に似ているなあとと思ったら、設計者が同じ内田祥三でした（写真3）。ここでは、鉄道開業150周年に合わせた企画展「人物でみる日本の鉄道開業」展を開催中で、大隈重信が鉄道開業にも関わっていたことがアピールされていました（写真4）。このスタン

プには、歴史館最寄りの港白金台郵便局の風景印を合わせてみました（図2）。



写真3 港区立郷土歴史館



写真4 鉄道開業 150周年記念展



図2 港区立郷土歴史館のスタンプと
港白金台局風景印

三か所目は有楽町線護国寺駅。護国寺

に大隈重信の墓があることから選ばれた駅と思われます。ここのスタンプには文教音羽郵便局の風景印を合わせてみました（図3）。この風景印には護国寺境内にある月光殿がデザインされています。

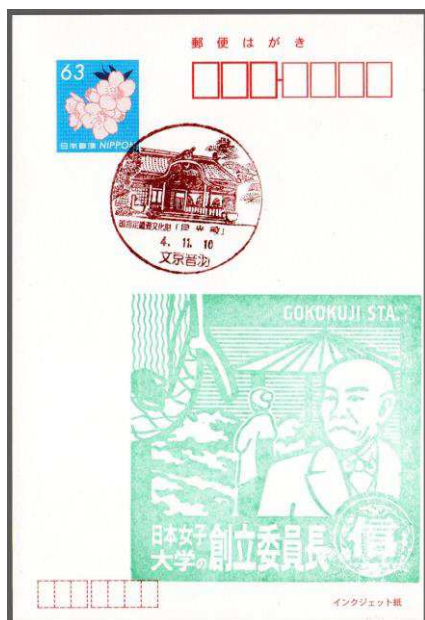


図3 護国寺駅のスタンプと
文教音羽局風景印

最後は早稲田大学構内にある早稲田大学歴史館（写真5）。大隈講堂前の1号館1階に2018年3月にオープンしたミュージアムです。この展示会場の廊下にスタンプが設置されていました。



写真5 早稲田大学歴史館



図4 早稲田大学歴史館のスタンプと
早稲田大学前局風景印

このスタンプに合わせるのやはり早稲田大学前郵便局の風景印でしょう（図4）。訪問日は創立記念日でしたので、正門に大きな看板が立っていました。



写真6 早稲田大学歴史館のスタンプ

このように、一般のスタンプラリーも風景印めぐりと合わせると二倍楽しむことができます。皆様も試してみてくださいはいかがでしょうか。（完）

■一般財団法人日本郵便切手デジタル博物館の設立パーティー開催



2022年11月13日（日）18:00から、東京池袋のホテルメトロポリタンのカシオペアの間で、一般財団法人日本郵便切手デジタル博物館の設立パーティーが開かれました。当博物館は、10月の稲門フィラテリー総会で講演された小原会員が理事長になり開館されるもので、その概要につきましては、当該講演の中でも紹介され、関連文書が当会報にも掲載されております。日本には現在、神戸有馬の切手文化博物館、東京目白の切手の博物館と、切手に関する民間の博物館が2つありますが、そこに3つ目として、このデジタル博物館が加わることになります。有馬、目白の博物館とも、その開館には稲門フィラテリーの会員等が関与しておりますが、今回のデジタル博物館も、当会の会員がその主たる役割を担っております。切手を、実物ではなくネットを通して自宅のパソコン等で自由に鑑賞できる従来にない形式になります。正式な開館が待たれます。この設立パーティーは、オペラ歌手の素晴らしい歌や著名な方々の挨拶の中、当デジタル博物館のますますの発展を祈念して、20:00にお開きになりました。

■ホームページ掲載作品募集

稲門フィラテリーのホームページでは、メニュー拡充の一環として、会員諸氏のコレクションを公開するページを予定しています。リーフ1枚でも、数フレームの大作でもかまいません。作品掲載を希望される方は、下記までお問い合わせください。

青柳 (tsuaho@green.ocn.ne.jp)

■ホームページアドレス変更

稲門フィラテリーのホームページアドレスが変更となりました。今後は以下のアドレスにアクセスください。

<http://post-stamp.org/wasephila.html>

◇編集後記◇

3年ぶりの総会が無事に開催できたことに感謝。稲門祭当日にはキャンパスに紺碧の空が響き渡り、あふれる若さと賑わいからエネルギーをもらった気がしました。今号も皆様から多くの原稿をいただき、うれしい悲鳴。引き続き原稿は募集中です。いよいよ今年も残すところ一か月となってしまいました。皆様、よいお年をお迎えください。

発行日：2022年12月1日

発行・著作：稲門フィラテリー

発行人：池澤克就

〒150-0002

渋谷区渋谷1-11-3 正栄ビル4階

(株)英国海外郵趣代理部内

稲門フィラテリー事務局

編集担当：池澤克就 青柳次男

本会報からの無断掲載・複製は、メディアを問わず禁止します。